

公益社団法人 東京都臨床検査技師会令和3年度第9回理事会議事録

日時：令和4年1月19日（水）19時00分～20時20分

場所：都臨技事務所 オンラインWeb会議システム（Zoomミーティング）

議長：原田

議事録作成：飛知和

出席：

（都臨技事務所にて参加）3名

浄土、加藤、高橋監事

以下の出席者は、Web会議システム「Zoomミーティング」により参加した。

（自宅より参加）15名

原田、杉岡、小山、中村、山方、米山、三橋、宮崎、星野、竹澤、浅野、末永、岩瀬、飛知和、立花監事、

（職場から参加）7名

櫻井：勤務先 東京都小平市花小金井8丁目1-1 公立昭和病院 臨床検査科

松村：勤務先 東京都板橋区加賀2-11-1 帝京大学 医療技術学部

相馬：勤務先 東京都板橋区大谷口上町30-1 日本大学医学部附属板橋病院

平木：勤務先 東京都新宿区河田町8-1 東京女子医科大学病院 中央検査部

府川：勤務先 東京都港区虎ノ門2丁目2番2号 国家公務員共済組合連合会虎の門病院 中央検査部

遠藤監事：勤務先 東京都千代田区神田神保町1-48 税理士法人 MYユニット

奥藤（役員候補者選出委員）：勤務先 東京都板橋区加賀2-11-1 帝京大学医学部附属病院

計25名

議事の経過の要領およびその結果

定刻、東京都臨床検査技師会会長 原田典明は議長席につき、Web会議システムにより、出席者の音声は即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同様に適時的確な意見表明が互いにできる状態となっていることを確認の後、理事会の開会を宣し、以下の議事に入った。

1. 議事録

- ・令和3年第8回理事会議事録が承認された。
- ・令和3年第10回執行理事会議事録は後日配信とし各自確認する事とされた。

2. 報告事項

1) 学術部

(1) 学術部会

- ・12月27日に第8回学術部会がおこなわれ議事録の確認がなされた。
- ・執行状況は順調であり今年度は計画通りに終わりそうである。
- ・来年度の予算計画書及び事業計画書の提出が一部遅れている。
- ・2022年度初級研修会テキストについて、作成スケジュールも少し後ろに延びる予定。
- ・2022年度の初級研修会テキストは公衆衛生検査研究班、遺伝子・染色体検査研究班もコンテンツを作成することとなり、臨床検査情報システム研究班以外の10研究班により構成される内容となる。
- ・来年度からHPに研究班幹事名簿を載せることにする。
- ・規程は見直しを行い、決定後は各班に周知する。
- ・原稿依頼の著作権同意書について事務所で保管の方向とし、PDFを理事にメール提出でも可とする。同意書のフォーマットに返信方法も入れて改版する。
- ・イベントペイの使用料について統一させて研修会の案内に入れ、領収書を簡単に設定できるよう要望があった。

(2) 標準化委員会

- ・1月14日に標準化委員会がおこなわれた。
- ・委員会の名称を『精度管理調査委員会』等への変更が検討された。
- ・規程および実務内容の見直し（委員の人数、実務担当者など）が検討された。

(3) 生涯教育制度実行委員会

- ・報告書の確認がなされた。

(4) 編集委員会

- ・12月22日に第5回編集委員会がおこなわれ議事録の確認がなされた。
- ・会誌2月号の進捗状況の確認がおこなわれ予定通り発行・発送となり紙ベースの会誌は最後となる。
- ・2022年のシリーズは、10月号からタスクシフトに関する内容を掲載することとし初回は日臨技理事に依頼予定。
- ・来年度予算は電子化に伴う委託会社が決定次第、予算立てをおこなう。
- ・2022年度初級研修会テキストは7500部作成予定とし、予算計画書が提出された。
- ・2022年度シリーズのタスクシフトの掲載内容に関して再度編集委員会を開催し、検討する予定。

2) 学会運営部

(1) 第16回東京都医学検査学会

- ・演題総数95演題(依頼講演55、一般講演40)となった。
- ・学会事務局より参加登録を会員へ促して欲しいとの依頼がなされた。
- ・コロナ前後での変化や工夫などをアンケート形式でHP上に公開するため情報提供の依頼がなされた。

(2) 第17回東京都医学検査学会

- ・第3回学会運営部会が1月17日にメール会議にて開催された。
- ・開催は2022年12月4日秋葉原UDXにて会場開催のみで行う予定で準備している。
- ・7月頃までに招待講演企画、研究班企画の講師を選定し依頼をおこなう。
- ・1月中に趣意書を作成、2月から企業の受付をおこなう。
- ・コンベンション会社は複数年契約をしている株式会社アトラスとし、2月1日に打ち合わせをおこなう。
- ・抄録用小冊子を作成予定のため2月中にサービス内容を精査し制作会社を決定する。

(ア) 支部運営

(1) 支部報告

- ・幹事主体で1月23日にタスクシフト/シェア厚生労働大臣指定講習会をおこなう予定だったが、新型コロナウイルス感染症蔓延のため延期となった。

- ・今後は終息を見越して計画を立てていく。

(2) 選挙管理委員会

- ・各支部において立候補者の人数は揃った。
- ・南支部および西支部の補欠候補が各1名欠員となるが定員は満たした。
- ・立候補者リストの最終確認が終了後、印刷およびHPに選挙案内を掲載する。
- ・2月1日から2月下旬まで投票期間を設け、3月開票作業をおこなう予定。
- ・開票作業をおこなう会場は作業人数が20名を超えるため、感染対策を考慮すると都臨技事務所ではなく、別途貸し会議室等を借りる予定。

3) 地域保健共催事業部

(1) 地域保健共催部

- ・看護フェスタが12月1日から12月31日に開催され、視聴回数報告書の確認がなされた。
- ・来年度の看護フェスタは5月14日に開催予定であるが開催方法は協議中。
- ・学生対象講演会のコンテンツを第16回東京都医学検査学会運営委員へ送り掲載予定。

(2) STI 予防委員会

- ・1月27日に第5回STI 予防委員会開催予定。
- ・保護者への紹介チラシの作成作業、HPおよび規程の見直しを進める。

(3) フォーラム委員会

- ・1月20日にフォーラム委員会を開催予定。

(4) 教育施設連絡者会議

- ・2月4日に施設連絡者会議開催予定、第16回東京都医学検査学会への参加を促す。

4) 会計部

- ・1月14日会計部会が行われた。
- ・2021年12月収支会計報告がなされた。
- ・2021年4月1日から12月31日までの予算管理月報より執行率の報告がなされた。
- ・令和4年度の予算計画を立てるよう依頼された。

5) 庶務部

(1) 庶務部報告

- ・会員が1月4日現在、7000人を超えた。

- ・賛助会員 67 社、すべて入金済となった。
- ・期末監査は 4 月 11 日から 15 日の予定とする。
- ・ホームページの見直しは東支部、南支部、STI 委員会、学術部から提案があり、ほぼ対応済みとなった。
- ・関連規程の見直しを依頼し対応の必要があったものは、3 月中に改定案を提出。

(2) 役員候補者選出委員

- ・1 月 6 日に第 5 回役員候補者選出委員がおこなわれ、内容報告がなされた。
- ・1 月 19 日現在、役員候補者の選出が西支部 5 名、その他の支部各 6 名の計 23 名が選出されているが委員会としては 25 名まで増やしたい。
- ・監事候補者 2 名の承諾が得られた。

6) 事務局

- ・12 月事務局報告書の確認がなされた
- ・NPO 法人病理技術研究会より共催願があり承諾した。
- ・日臨技主催の地域ニューリーダー育成研修会に中村副会長および杉岡副会長が参加となる。
- ・都臨技事務所の火災保険が契約更新時期となり更新契約の見積もりが提示された。

7) 表彰選考委員会

- ・1 月 17 日に第 5 回表彰選考委員会を開催した。
- ・各賞および記念品の準備が予定通り進められている。
- ・都臨技名誉会員及び功労者表彰への表彰盾が今年度中に送られる予定。

8) 副会長報告

- ・1 月 22 日に日臨技理事会が開催予定。
- ・日臨技会長選挙が終了し、宮島会長が再選となった。
- ・創立 70 周年法人化 30 周年記念事業は記念誌の発行(A4 サイズ 100P 程度)7500 部を予定する。
- ・創立 70 周年法人化 30 周年記念事業記念誌の発行は冊子のみとし、電子化はしない。

9) 会長報告

- ・日臨技からの災害時支援協定について説明および内容の確認がなされた。
- ・小山副会長より、都臨技でも災害対策マニュアルを作成するが災害時支援協定を結んでおいた方が、他臨技と協力もしやすいとの意見がなされた。
- ・次年度の予算計画および事業計画書を 2 月理事会で承認が得られるよう、2 月執行理事会までに提出するよう依頼された。
- ・次年度の幹事・委員の推薦状を 3 月の理事会で承認が得られるよう提出依頼がなされた。

3. 審議事項

1) 日臨技 災害時支援協定

- ・日臨技との災害時支援協定を締結することが審議の結果、承認された。

2) 新入会会員

- ・24 名の入会（再入会 2 名を含む）が審議の結果、承認された。

3) 賛助会員

- ・株式会社トータルブレインケアの入会が審議の結果、承認された。

4)

- ・日臨技令和 4 年 5 年、理事候補者に杉岡副会長を推薦することが承認された。

以上をもって本理事会の審議を終了したので、議長は閉会を宣言し 20 時 30 分に解散した。本日の Web 会議システムを併用した理事会は、終始以上なく審議を終了した。上記の議題及び決議内容を明確にするため、この議事録を作成し議長と監事は次に署名捺印する。

議長
(原田)

原田典明



監事
(立花)

立花勇一



監事
(高橋)

高橋秀治



監事
(遠藤)

遠藤盛人

